



令和7年11月13日

各位

会社名 日本基礎技術株式会社
代表者名 取締役社長 中原 巖
(コード番号 1914 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役執行役員 事務管理本部長 田中 邦彦
(TEL 03-5365-2500)

第2四半期(中間期)の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、令和7年5月14日に公表しました令和8年3月期第2四半期(中間期)の業績予想と本日公表の決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異

令和8年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想数値の差異(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,570	百万円 708	百万円 793	百万円 415	円 銭 22.00
実績値(B)	13,121	802	1,058	734	39.27
増減額(B-A)	△2,449	94	265	319	—
増減率(%)	△15.7%	13.3%	33.4%	76.9%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (令和7年3月期第2四半期)	14,437	1,178	1,138	1,026	52.48

2. 差異理由

第2四半期(中間)の連結業績

売上高については、米国現地法人において、地質条件の相違により、施工方法が見直され、着工時期が遅れたことから、2,449百万円減少しました。

一方、利益については、国内工事全般において、利益率が改善したことから、営業利益が94百万円増加しました。また、受取配当金204百万円、為替差益51百万円の影響により、経常利益が265百万円、親会社株主に帰属する中間純利益が319百万円それぞれ増加しました。

3. 通期業績予想

令和8年3月期の通期業績予想につきましては、令和7年5月14日に公表しております予想数値から変更はありません。

以上